



県内経済の動き

概 況

〔2025年6月～2025年8月の動き〕

緩やかな回復基調が続く

鉱工業生産指数（6月）は4カ月ぶりに前月比低下、通関輸出額（7月 細島港）は2カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（7月 全店ベース）は9カ月ぶりに前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（8月）は2カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（7月）は4カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（8月 保証対象請負総額）は3カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（7月）は前月比▲0.03ポイントの1.22倍で、8月の企業倒産は前月比3件増の6件、負債総額は同9億61百万円減の3億95百万円となった。

県内経済は緩やかに回復しているものの、合意がなされたトランプ関税や物価高、賃上げ動向等の県内経済に及ぼす影響が懸念される。